

ハラリ Halali

Rudi Hoffmann作

2人用 8歳以上 所要時間約40分



一方のプレイヤーがきこりと猟師となり、もう一方のプレイヤーがキツネとクマになります。両方のグループがお互いに命をかけて狩を行います。加えて、キジやカモが登場し、これらを両方のグループが狩ります。

ゲームボード上に、最初は全てのタイルが裏向きに置かれます。手番になったら、そのうちの一枚を表向けるか、すでに表向いているタイルを移動させます。

全てのタイルが表向けられた、ゲーム終了時に、より多くの狩りをしている方が勝者となります。

用具

ゲームボード 1

背景が青のタイル 8

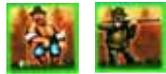
クマ×2 キツネ×6

背景が茶色のタイル 10

きこり×2 猟師×8

背景が緑の中立タイル

カモ×7 キジ×8 木×15 (広葉樹、針葉樹)



ゲームの準備

- ・ゲームボードを2人のプレイヤーの間に広げます。
- ・48枚のカードを裏向きにしてよく混ぜて、ゲームボードのマスに1枚ずつ置いていきます。中央のマスはあいたままにしておきます。
- ・プレイヤーは、青(クマとキツネ)か茶(きこりと猟師)のどちらを担当するかを決めます。青のプレイヤーが先に手番を行い、以降は交互に手番を行います。

ゲームの進行

手番になったら、以下の2つのうちから1つを選んで実行します。

1. カードをめくる
2. 表向きのカードを移動させる

1. カードをめくる

- ・カードをめくる場合には、まだ裏向きになっているカードを1枚選んで、それを表向けます。このとき、表に向けるカードの向きを変えないように注意してください。

2. 表向きのカードを移動させる

- ・茶色のカードは茶のプレイヤーのみが、移動させることができます。
- ・青色のカードは青のプレイヤーのみが、移動させることができます。
- ・中立で緑のカモもしくはキジのカードは、両方のプレイヤーが、移動させることができます。
- ・中立で緑の木の場合は、移動させることはできません。
- ・縦横直線の方向ならば、タイルが置かれていないマスが続く限り、何マス分でも移動させることができます。ただし、クマときこりだけは、1マスずつしか移動できません。
- ・行ったり来たりすることはできません。すなわち、直前の手番で移動させた自分の色のカードを、再び移動を開始したそのマスに戻すことはできません。
- ・中立の緑のカードで、直前の手番に相手プレイヤーがめくったもしくは移動させたカードを移動させることはできません。

狩りとポイント

- ・ゲームの目的は、相手および中立のカードを狩ることにあります。このとき、それぞれの役割によって以下のように狩りを行います。
 - ◇ きこりは木を取ることができます(これも刈になります)。
 - ◇ 猟師は、全ての動物(クマ、キツネ、カモ、キジ)が、射撃できる方向にいる場合のみ、それを取ることができます(ここで、カードを表向けるときにその方向を変えられないことが重要になってくるのです)。つまり銃が向いている方向に移動したときのみ狩が可能になります。銃の向きは、狩りを行うときにのみ、意味があります。猟師は、銃の向きに関わらず、任意の方向に移動することはできます。
 - ◇ クマは、きこりと猟師を取ることができます(これも狩です。恐ろしいですね)。
 - ◇ キツネは、カモとキジを取ることができます。
- ・取ることでできるカードの置かれているマスへと移動したとき、狩りができたこととなります。
- ・狩ったカードは、ゲームボードから取り除き、狩ったプレイヤーの前に表向きにして置きます。

ゲームの終了

- ・最後のタイルが表向けられたら、次のプレイヤーからはゲームの終了フェイズとなります。ここでは、互いに5回手番を行います。プレイヤーは、何回目の手番かを数えていきます。
- ・終了フェイズでは、残っているカードを取ることに他に、勝利ポイントを得る方法がもう一つあります。それは、自分の色のタイルを通常の移動のルールに従って、4つある森の出口から脱出させることができるのです。これらのタイルも獲得タイルとなり、最後の得点計算に数えられます。
- ・全てのタイルが表に向けられ、なおかつ1人のプレイヤーのタイルが1枚もない状態となったとき、ゲームは途中でも終了します。
- ・ゲームが終了したら獲得したタイルのポイントを合計します。

ポイント表

ポイント		ポイント	
クマ	10	キジ	3
キツネ	5	カモ	2
きこり	5	木	2
猟師	5		

・合計ポイントの多い方が勝者となります。同点の場合は、獲得タイルの多い方が勝者となります。

もう一度プレイする

両方のプレイヤーの条件を対等にするために、役割を交代してもう1ゲームプレイすることもできます。2回戦終了後に、両方の結果を合計してポイントの多いプレイヤーの勝ちとなります。

作者について

Rudi HoffmannはGrafikerとして働いています。35年才からゲームを作りはじめました。彼のゲームは、非常にウイットとオリジナリティ、魅力に富んでおりいます。このおもしろい狩りのゲーム"HaLali"についてもそうで、このゲームは、27年前に"Jag und schlag"というタイトルで出されました。Rudi Hoffmannの最も大きな業績は、1989年のSpiel des Jahres (カフェインターナショナル)であり、都合6回Spiel des Jahres (ドラダとマエストロが有名です)にノミネートされています。

		枚数	得点	移動距離	狩ができる方向	獲得できるタイル
青色 タイル		2枚	10	1	縦横四方	 
		6枚	5	任意	縦横四方	 
茶色 タイル		2枚	5	1	縦横四方	 
		8枚	5	任意	銃が向いている方向	   
中立 タイル		8枚	3	任意		
		7枚	2	任意		
	 	15枚	2	移動不可		

ルール問い合わせ先



メビウス ゲームズ

東京都文京区後楽 1-1-15 梅澤ビル 5階
 Tel 03-3815-5956 Fax 03-3815-7956
 e-mail:shop@mobius-games.co.jp
 URL http://www.mobius-games.co.jp/